

みんなが笑顔でくらせるまちづくり

# 上原自治会だより

発行・大垣市上石津町上原自治会

発行責任者  
三宅 治  
☎ 45-2374  
Email:  
info@uwahara.com

## 上原区美化デー

八月二日(日)朝八時から上原区の美化作業が行われました。今年も多くの皆さん(約百五十人)に参加いただきました。蒸し暑い中、本当に苦勞様でした。上原地内が見違えるほどきれいになりました。



参加者約150名、今年から飲み物を始める前に集合場所で配りました。数に限りがありました。凍ったお茶が好評でした。

## 鳥獣対策爆竹大作戦

八月二日(日)午前七時半から、班長さんらによる爆竹隊を編成して、五拠点(海道や文條、用之川原など)

にて爆竹数百発を一斉に破裂させました。早朝から皆様にはお騒がせしました。効果については、その後、猿の群れによる、稲の被害も報告されており、あまり無かった様です。



海道で作業するC班の様子。当日は多良派出所の東部長も心配して、現場へ足を運んでいただきました。

## 夏のラジオ体操について

夏休みのラジオ体操を七月二十一日(火)から八月二十日(木)まで、(但し土曜と日曜、お盆休みを除く)毎朝六時半から上原コミュニティセンター前に行っています。上原区の皆様も健康のために気軽に参加ください。

## 加圧タンクの交換工事

八月六日(木)午前九時から、上原増圧ポンプ場の加圧タンクの、老朽化に伴う水漏れ対策のため、新しいタンクに交換する作業を行いました。大垣市で断水を心配して給水車を待機して頂きましたが、幸い断水も無く、スムーズに工事完了しました。皆様には通行等でご不便をお掛けしました。



交換された真新しい加圧タンクです。古いタンクは約4半世紀(23年間)も頑張ってくれました。

## 太陽光発電設備

イビデン(株)上原産業廃棄物処理場、南側の太陽光発電設備の基礎・架台・モジュール取り付け工事、及び電気工事がおおむね終わり、近々、五百キロワット発電が開始予定です。発電に伴う上原区への電力供給

等の恩恵はありませんが、非常時に発電所内にて、照明や携帯機器の充電等で利用させていただける予定です。なお、北側の二百キロワット設備は来年十月に発電開始予定です。

## 親子ふれあい行事



八月二日(日)の午後、上原子ども会(入口直人会長)は夏休みの親子ふれあい行事として、大垣コロナホールにてボーリング大会を開催しました。参加人数は四十二名(子供会十九名、幼児五名、大人十八名)とほぼ全員参加です。子どもたちも大満足、大人もつい力が入って本気モードでした。皆さん夏休みの楽しい時間を過ごすことが出来ました。



当日の外は猛暑、屋内のボーリングがベストだったと思います。入口さんご苦勞様でした。

### 国勢調査実施について

五年に一度の国勢調査が、今年、十月一日現在でのすべての人と世帯を対象に行われます。今回の調査員は七班の栗田頼男さんにお願ひしています。皆様の協力の程、よろしく願ひします。

### 村役・臨時総会について

村役と臨時総会の期日が決まりました。(一)承知置きください。  
平成二十七年九月二十七日(日)  
なお、詳細は追って連絡します。

### お経の練習やっています

七月二十一日から八月十二日まで、浄徳寺住職、恵亮さんの指導で、主に小学生を対象にラジオ体操の後に、正信偈の練習を行っています。地藏盆にはその成果が見られると思います。



子供たちの正信偈の大きな声が浄徳寺本堂中に響いていました。

### 残したい上原の歴史や風景 ⑩

#### 戦後七十年目に想う

今年が戦後七十年節目の年、大半の人は戦争を知らない世代です。今月は実際に戦争を経験された、入口庄一さんにお話を伺いました。

昭和十六年十七歳の時に志願して、山口県岩国市、大竹海兵団に入団し、三ヶ月間の新兵教育を受けた。

その時の訓練は厳しいものがあり、上官の命令はその事の如何に関わらず、直ちに服従しなければならなかった。朝六時起床、夜九時まで訓練づけ、九時以降は上官の靴磨きや洗濯をやり、睡眠時間は実質三時間程度であった。班のメンバーの一人に不手際があると、夜中でも全員がたたき起こされ「軍人精神注入棒」と書かれた樫の木の棒で、尻が紫色に腫れ上がるまで、殴られる事がしばしばあった。しつけ教育の名目であったと思われるが、一番辛い期間であった。その後、航空母艦「瑞鶴(ずいかく)」に乗船した。持ち場は敵戦闘機を撃ち落とす、二連式放射砲であった。瑞鶴は戦艦大和などを含む連合艦隊に属し、北はアリコーシャンから南方の海洋やインド洋まで、広い海域を移動した。楽しい思い出として、南の島で停泊した際

に、島の住民と煙草と交換したマンガウの味が忘れられない。乗船後は新兵教育の時の様な体罰は無かったが、戦場最前線で一時も気は緩められなかった。昭和十九年に入り戦局は厳しくなり、昭和十九年六月二十六日、マリアナ沖海戦(アメリカ海軍空母機動部隊の海戦)で瑞鶴も大きなダメージを受け、二千八乗員の内、約八百人が死傷した。自分もその時に全身の大やけどと、背中への傷、右足を負傷した。この海戦で負傷者と死者を空母の甲板で分けられ、自分は死者の中に入れられていたが、無意識に腕を動かして「うっ」と声を出し、近くにいた戦友がそれに気づき、九死に一生を得た。幸い瑞鶴は魚雷の難は逃れ、航行可能であったため、呉にもどり、病院で終戦を迎えた。終戦後、上原に戻り、一度助けられた命、亡くなった戦友のためにと思い、懸命に働いてきた。炭焼も山仕事も不自由な身体を押してやった。話の最後に、志願して入団した頃は年齢も若く、戦争への志は高かったが、七十年目の節目として「戦争は絶対にやってはいけない、全ての者を不幸にする。」と強い口調で語った。

入口庄一さんは町議会議員四期、上原区長四年、平成元年からは岐阜

県傷痍軍人会長、日本傷痍軍人会理事や対策委員長を歴任されました。在任中は全国を飛び回り、傷痍軍人会が解散した、平成二十五年まで傷痍軍人の厚生に尽力されました。



入口さんは今年の9月で91歳(大正13年生)、まだまだお元気です。

### 上原区の予定

- 8月14日(金) 19:00-多良地区盆踊り大会 地域事務所駐車場
- 8月19日(水) 13:00- 追悼法要・記念講演 念通寺(下多良)
- 8月24日(月) 19:00- 上原地蔵盆祭り、こども会行事
- 9月19日(土) 13:00- 多良地区運動会 多良小グランド
- 9月21日(日) 敬老の日 上原区 28名(77歳以上)
- 9月27日(日) 8:00- 村役、臨時総会、予備日 10月4日(日)
- 10月1日(木) 平成27年国勢調査
- 10月10日(土)、11日(日) 上原神社の祭礼